

### 【1. 概要】

- ・豊松地区の夏秋トマト産地において、エコファーマー認定計画可能な防除体系の確立及び実践の普及(平成18年)。エコファーマー認定農家53戸, 栽培面積9ha(平成18年4月認定)
- ・研修資料を作成し、産地全体の研修会を4回, 地域ごとの現地研修を3地区で各2回実施(平成18年度)

### 【2. 実践内容】

#### (1) 取り組みの背景、経緯

- ・マルハナバチ導入による殺虫剤の使用制限と、市場からのエコファーマー認定要請により取り組んだ
- ・マルハナバチ導入と併せた防虫ネットによるオオタバコガの侵入防止。防蛾灯から循環扇への移行の推進
- ・オンシツコナジラミの防除。ラノーテープからホリバーロールへの転換(化学農薬の低減、抵抗性発現回避)
- ・IPM技術と適期防除の徹底による防除回数の低減と今後のIPM推進のための技術実証。(供試資材:ボトキラー水和剤(暖房機による施用)、エルカード、ミドリヒメ、アフィパール)

#### (2) 普及拡大に向けたポイント、成功要因

- ・普及組織との緊密な連携
- ・研修会や個別巡回指導での主要病害虫の発生生態と防除の基本的な考え方を徹底した
- ・エコファーマー計画策定の個別相談会の実施
- ・町と連携し、農業公社の試験ハウスで総合的な天敵防除実証試験を実施

### 【3. IPMの推進による効果、得られた経験】

- ・農薬以外の防除の導入、病害虫の発生生態に合わせた適期防除の徹底による防除回数の低減(防除暦の作成)
- ・産地ぐるみのエコファーマー認定 認定戸数53戸(H18)
- ・天敵防除技術の実証(化学農薬無散布で栽培)

図1 灰色かび病の発病果率および発病株率の推移

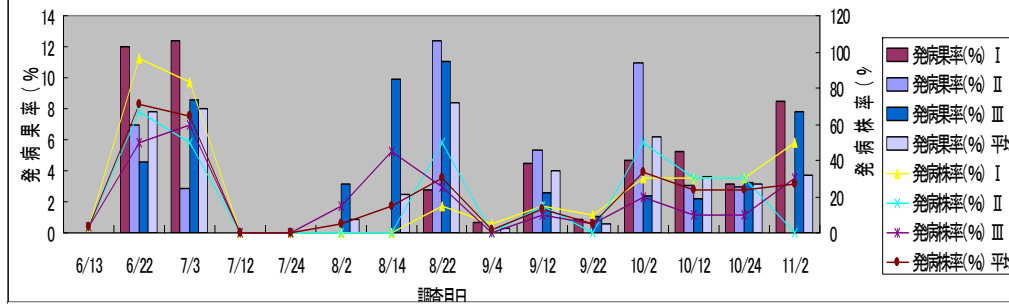


図2 オンシツコナジラミの発生推移および天敵寄生蜂のマミーの推移

